

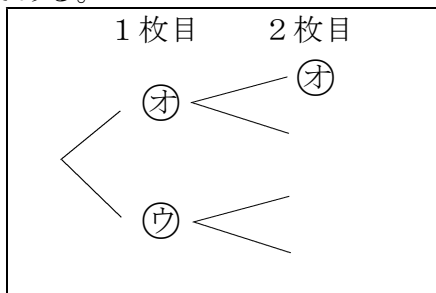
学習日 月 日

年 組 番 氏名

1 下の図の続きをかき、次の文の空らんをうめなさい。

2枚のコインを投げて、「2枚とも表が出る」確率は、次のように求めることができる。

- (1) 表や、下のような _____ を使って、起こりうる結果が全部で何通りあるかを調べる。
2枚のコインを投げたときの起こりうる結果は全部で _____ 通りである。



- (2) そのうち、「2枚とも表が出る」のは何通りかを調べる。①—①は、 _____ 通りである。
(3) つまり、「2枚とも表が出る」確率は、 _____ である。

2 次の確率を求めなさい。

- (1) 大小2つのさいころを投げるとき
① 起こりうる結果は全部で何通りあるか、図か表をつくって求めなさい。

答 _____

② 目の数の和が5になる確率を求めなさい。

答 _____

- (2) 1, 2, 3, 4の4枚のカードから2枚続けてひいて、ひいた順番にならべて、2けたの整数をつくる時
① できる2けたの整数は全部で何通りあるか。樹形図をつくって求めなさい。

答 _____

② できる2けたの整数が24である確率を求めなさい。

答 _____

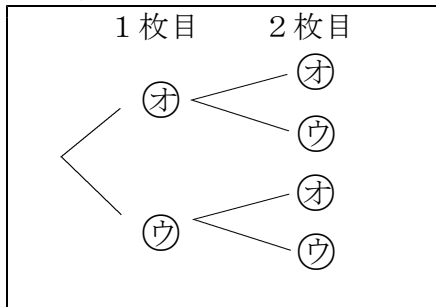
③ できる2けたの整数が奇数である確率を求めなさい。

答 _____

1 下の図の続きをかき、次の文の空らんをうめなさい。

2枚のコインを投げて、「2枚とも表が出る」確率は、次のように求めることができる。

- (1) 表や、下のような 樹形図 を使って、起こりうる結果が全部で何通りあるかを調べる。
2枚のコインを投げたときの起こりうる結果は全部で 4 通りである。



- (2) そのうち、「2枚とも表が出る」のは何通りかを調べる。①-①は、1 通りである。
(3) つまり、「2枚とも表が出る」確率は、 $\frac{1}{4}$ である。

2 次の確率を求めなさい。

- (1) 大小2つのさいころを投げるとき
① 起こりうる結果は全部で何通りあるか、図か表をつくって求めなさい。
解答例

小 \ 大	1	2	3	4	5	6
1				5		
2			5			
3		5				
4	5					
5						
6						

答 36通り

- ② 目の数の和が5になる確率を求めなさい。

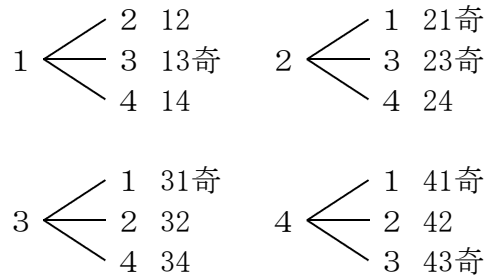
和が5になるのは、表の4通りであるから、確率は

$$\frac{4}{36} = \frac{1}{9}$$

答 $\frac{1}{9}$

- (2) 1, 2, 3, 4の4枚のカードから2枚続けてひいて、ひいた順番にならべて2けたの整数をつくるとき

- ① できる2けたの整数は全部で何通りあるか。樹形図をつくって求めなさい。



答 12通り

- ② できる2けたの整数が24である確率を求めなさい。

起こりうる結果は全部で12通りで、どのカードをひくことも同様に確からしい。カードを2枚続けてひいて、ひいた順番にならべてできた2けたの整数が24である場合は1通りである。

答 $\frac{1}{12}$

- ③ できる2けたの整数が奇数である確率を求めなさい。

奇数になる場合は上の樹形図の6通りであるから、確率は

$$\frac{6}{12} = \frac{1}{2}$$

答 $\frac{1}{2}$